

10月1日に35年度國勢調査

今日を知り明日につながる國勢調査

国勢調査が、きたる十月一日全国一斉に行われることになりました。

今は年に一度の大規模調査でもあります。國連で勧告している

「一九六〇年世界人口センサス計画」の一つとして行われる調査でもあるという点で特に意義深いものがあります。

教育や出産力など23項目

国勢調査とは

国勢調査は、ご存じのように五つごとに、全国の常住者を対象に行われる、定期的な人口に関する統計調査のうちで最も基本的な大規模なものであります。

その目的は、わが國の人口の大きさ、分布、構造およびそれらの変化をあくまで国（地方公共団体も含めて）の行政、財政その他施策とか、学問的研究のための基礎資料を得ようとすることです。

留萌市では全地域を百八十九の調査区にわけ、百八

十五名の調査員が勤務されます。

4失業対策その他の労働行政および各種社会保険行政の基礎資料調査結果は、行財政その他の第一にあげられるのは、中央地方の議員の定数決定の基礎として用いられることがあります。

そのほか、おもなものは次のとおりです。

21都市設置要件の決定

地方交付税額を決定するための地方公共団体の基準財政需要額および基準財政収入額の算定



写真は国勢調査の準備に汗だくの係員

人口対策上、生命表の作成および将来人口推計の基礎資料

このほかに各種行政上の用途のほか、民間における各種の市場などの基礎資料として利用されます。

調査のあらまし

こんどの国勢調査で調査されるのは、次の二十三項目です。

とくにこんどは大調査であります。

そのため、昭和二十五年の

「通学地」「準世帯の種類」

「家計の収入の種類」

したほか、あらたな調査事

項として、「一年前の常住地

」、「出産力」を調査することに

したほか、あらたな調査事

項として、「一年前の常住地

」、「出産力」を調査することに